

年末年始

樹徳高等学校副校長

池田 量



新年明けましておめでとうございます。百八つの除夜の鐘を聞きながら、平成二十八年を健やかに迎えられたことと拝察いたします。

新年には「屠蘇」をいただき、「雑煮」を食べるという習慣があります。屠蘇は漢方薬の屠蘇散を酒（本来は味醂）に浸したもので、邪気を払い長寿をもたらすものとして新年にいただきます。中国から伝わり、日本でも平安時代の宮中では、これを飲むことが儀礼化していました。なお、屠蘇散は、現在も漢方薬として販売されています。

屠蘇をいただいたら、次は雑煮です。地方によって味付けや具材はさまざまですが、数種の材料を煮込んだ汁に餅を加えたものが一般的でしょう。古くは五臓

を保養するものとして保蔵と呼ばれていたため、一部には、今でも臈煮と表記する地域があります。

ところで、屠蘇や雑煮は現代に至るまで生き続けているものですが、年末年始の風景は、平成と昭和を比較しただけでも、大きく様変わりしました。

私が子どもの頃、年末は、家族総出で大掃除をした後、臼と杵を用意し、父親を筆頭にした男衆が、代わる代わる杵を振るって餅を搗きます。続いて、二段重ねの鏡餅と稲藁を縫ってつくった注連飾りを神棚に供え、女衆はお節料理を重箱に並べます。これで新年を迎える準備が整いました。炬燵に入り、皆で年越し蕎麦をいただく頃、年末恒例の紅白歌合戦が始まるのです。

しかし現在はどうでしょう。大掃除は専門業者に委ねられ、鏡餅も注連飾りもお店で売っています。お節料理もスーパードコンビニが家庭に届けてくれます。年越しそばも、麺つゆも具材も付いているセット商品になってしまいました。便利な時代になったものだと

思うと同時に、一抹の寂しさを感じずにはいられませんが。

かつて、三が日は、ほとんどの商店が休みでした。正月の町はとても静かだったのです。そんな中で、子どもたちは、独楽、羽根つき、凧揚げで遊び、雑煮をはじめとした正月ならではの食事に舌鼓を打ちました。そして、最も楽しみにしていたのが、お年玉です。お年玉袋を開けるときのあのワクワク感は今でも忘れることができません。

今、コンビニは二十四時間三百六十五日休むことなく、スーパードパートも元日から営業しています。子供たちは、普段と同じようにインターネットやゲームで遊び、贅沢に慣れてしまった口は、お節料理に感動することもありません。私は、このような状況を否定しようとは思っていませんが、これが幸せなことであるとも思っています。ともあれ、そんな現代もやがては過去となり、年末年始の在り方や風物は、これから変化し続けていくことでしょう。

物とえば、スポーツに携わってきた私の頭にまず浮かぶのが、駅伝です。年末に、京都の都大路を舞台にして繰り広げられる男女の全国高校駅伝、元旦に群馬県を舞台にして行われる実業団のニューイヤースタート、そして、二日と三日にわたって、関東陸連に加盟する大学が、東京箱根間で覇を争う箱根駅伝などです。そして、数ある駅伝の中でも、最も人気の高いのが箱根駅伝でしょう。今では出場校を決める予選会がテレビ放映されるほどの大イベントになっていて、人々の記憶に残る数々のドラマが生まれています。出場する選手も監督も、この大会のために全生活を賭けてきました。

れと連呼しています。しかし、時計の針は非情にも定刻を回ってしまいました。脱水症状を起こして、意識朦朧となったランナーが必死で前に進むようとしています。監督がその前に立ちます。監督がその前に立ちます。しかし、この時点で、すでに結果は出てしまいました。私は、思い出すたびに、選手や指導者の心の中がひしひしと伝わってきて、胸が熱くなるのです。箱根駅伝は、迎えて九十二年目の開催となりますが、今年はどうなドラマが生まれるのでしょうか。

思いのままに書き連ねて、とりとめのない話になってしまいました。誠に恐縮ではございますが、皆様方にとって、新年が実り多いものなるようお祈り申しあげて、筆を置かせていただきます。



「お正月」派

子どもの頃は、お正月にあまり魅力を感じなかった。「数日前のクリスマスはとつてもロマンティックなのに」と比較して、余計にそう思ったりしていた。

まず、飾りが違う。「クリスマスツリー」と「しめなわ」では、見た目の煌やかが違う。それから、「サントさんが持つてきてくれる」と「親戚がくれる袋に入った現金」では、夢の大きさが違う。

そして、私にとって、何よりも大きな問題が「食べ物」であった。クリスマスは「大好きなチキンとクリスマスケーキ」。対して、お正月は「おせち料理」。しかも、三日間同じメニューを食べ続けなくてはならない。正直なところ、少々苦痛に感じていた。さらに、この大して好きでもない献立を、年末になると手伝わされるのだ。いつも、母親に不満をもらしていた気がする。それに加えて、私が切ったきんぴらのごぼろは太すぎる、などと、父親に笑いながら言われたりする。少しも良い思い出が

なかった。そんなことから、幼いころの私は、断然、クリスマス派であった。

しかし、高校生の頃だつたらうか。おせち料理に込められた先人達の願いやいわれについて知る機会があった。「昆布巻き」は「よろこぶ」にかけて、「栗きんとん」は「黄金に輝く金銀財宝」を例えている。「きんぴら」の「ごぼろ」は、「細く長く幸せに」という縁起を担いでいる、などなど。

これらのことを知ってからは、おせち料理が俄然、素敵なものに見えてきた。昔の人たちが、子孫たちがさらに発展するように、また、日本の未来が輝くようにと、思いを込めて作り出したものだ、と考えると、じんわりとした温かさを感じる。と同時に、この伝統が誇るべきものにも思えた。すると、おのずと、それまであまり好きではなかったお正月への見方が変わり、日本の大切な行事である、と実感することができるようになってきた。

そして、今では私がおせち料理を作り、こどもたちが食べないと叱る側になっている。もちろん、ただ叱るだけではなく、だんだんと、その意味を話して聞か

せ、先人達のこの素敵な思いを伝えていきたいと思っている。

お正月の風習を大切に受け継ぐとともに、こうして新年を迎えられることに感謝したい。

「今年もよろしく
お願いいたします」
(編集子)

「音楽やってみよう」

私はミュージカルが大好きです。とあるテレビ番組で、タモリさんは、ミュージカルのことを「会話の途中で歌が始まるのは、ありえない。そこが嫌いだ」と話していましたが、私はそこが好きなのです。(タモリさんも大好きです)

私は、自分自身の思いや葛藤、それらが自分自身の感情の中でメロディーになっていくことは、あり得ると思います。一人になると鼻歌を歌っている人がいますが、それも、そうしたことの表れではないでしょうか。(ちなみに私もその一人であります)

私が最も好きなミュージカル作品は「WICKED」です。「オズの魔法使い」の裏側を暴いた作品です。「オズの魔法使い」に出て

くる悪い魔法使いは、実は悪くない、という話で、周囲からは悪い魔法使いと見なされている側からの視点で描かれた内容です。当然、「オズの魔法使い」のストーリーと驚くほどリンクしている、「なるほど、こうしていた見方もできるのか」と感嘆するばかりです。

また、主人公の魔法使いの生き様は、とても一生懸命で誠実で、格好良いのです。そして、彼女の親友、「オズの魔法使い」原作の中では、良い魔女として登場する人物ですが、その魔女の生き方も、また違った描き方がされていて、大変興味深いものです。

劇中の歌もとても素晴らしく、特に第一幕の最後、二人のデュエットは、涙なが、それぞれが、それぞれの道を悩みながら選ぶというその場面と、歌唱力で観客を魅了します。

「百聞は一見に如かず」ということで、ぜひ一度ご覧いた

だきたい作品の一つです。実際の劇に触れることで、例えば、抱えている問題の解決の糸口が見つかるかもしれない。歌の魅力に改めて気がつくことがあるかもしれません。

そして、それに加えて、自分の感情をメロディーにすることもおすすめします。一見幼稚で、ばかりしか思えるかもしれませんが、その歌が、時にはどんな底の気分の自分を助けてくれたり、あるいは、うれしい気持ちをさらにうれしくしてくれるかもしれないのです。

私は、本年も、音楽と共に、一生懸命、楽しみながら生活していきたいと思えます。皆様の平成二十八年も、音楽がともにありますように。(田村香央莉)



桐生錦町一丁目 盛運橋薬局前

■樹徳コミュニティセンター「み法」 1月の行事予定

- (1)アートスクール「編み組み教室」
主催 野村ナナ子さん 7日・21日(木)
- (2)七草ゼミナール塾
主催 上野文雄さん 22日(金)
- (3)販売実習 (16・23日の各土曜日)
 - ①「相田みつを美術館」取扱い商品
 - ②「星野富弘美術館」取扱い商品
 - ③東北復興支援商品 (缶詰等)

平成二十八年を迎えて

新年を迎えるにあたり、本校生徒に新年の抱負を綴ってもらいました。それぞれにとって、実りある一年になることを願っています。

しゃぼん玉とびしたい

三年J組 落田 珠生

(前橋第三中出身)



この春、私は樹徳を巣立って歯科衛生士になるべく進学します。無事に国家試験に合格したら、小児歯科へ進みたいと考えています。大きくなっていく子ども達が八十歳になっても二十本歯が残っているように、ハミガキ指導や治療をしたいと思っています。「怖くない歯医者のお姉さん」になりたいです。今も、ボランティアに保育園へ行ったり地域のお雛子で積極的に子どもに話しかけたりしています。進学後は確かな技術と知識を身につけるのはもちろんのこと、実習などを通して、子どもの目線に立てるようにしたいです。

初心を忘れずに

二年K組 秋場 結衣

(伊勢崎あずま中出身)



樹徳で私は沢山の体験をさせていただきました。二年生半ばからは献灯・献花・献香係。最近では月影祭実行委員執行部、そして幸福なことに月影祭ポスターも選ばれ、とても楽しい思い出が、勢いよく息を吹いたしゃぼん玉のように次々と飛び出していきました。まさにしゃぼん玉のように昔のことを触ろうとすれば消えてしまつて、長くは自分の周りに漂つてはくれませんが、だからこそ新年からも沢山、大きいものも小さいものも、いい思い出といふしゃぼん玉を吹いていきたいです。吹いている途中に割れてしまうこともあるし、それが続いてしまうこともあります。それでも、これまでに培った根性と気合いでどんな向かい風にも立ち向かっていきたいです。それが私の平成二十八年、そして未来の目標です。



平成二十八年一月一日、この日を私はいつもの年とは別の、非常に改まった気持ちで迎えました。二年生の三学期は三年生のゼロ学期と言われますが、こうして樹徳高等学校で学べる日も、一年足らずだと思つと、まだやらなければならぬことがたくさんあるのに、と焦りの気持ちもあります。この二年間は嵐のように過ぎましたが、私はこの学校で学習だけではなく、様々なことを体験し、一回り成長した自分を感じています。しかし、十八歳を目前にして、今までにない緊張が生まれてきました。大人の仲間入りをしなければならぬのです。進路決定という人生でも重要な局面も迎えます。それだけではなく私達は今年から有権者になります。なんと「国政」に参加するのです。学んだ

り考えたりしなければならぬことがたくさんあり、心の中ではまだまだ夢を追いきたいのに、それを許さない現実には直面しているのです。

「樹妙」に「初心忘るべからず 精出せば凍る間もなし水車」とあるように、立ち止まっては行かれません。現在の延長にある未来の自分を作るために、「今」なすべきことを一つ一つ丁寧に成し遂げたいと思えます。年頭にあたり、入学当初の初心に立ち返り、この一年全力を尽くすつもりです。

挑戦

一年J組 鹿子島 杏介

(前橋春日中出身)



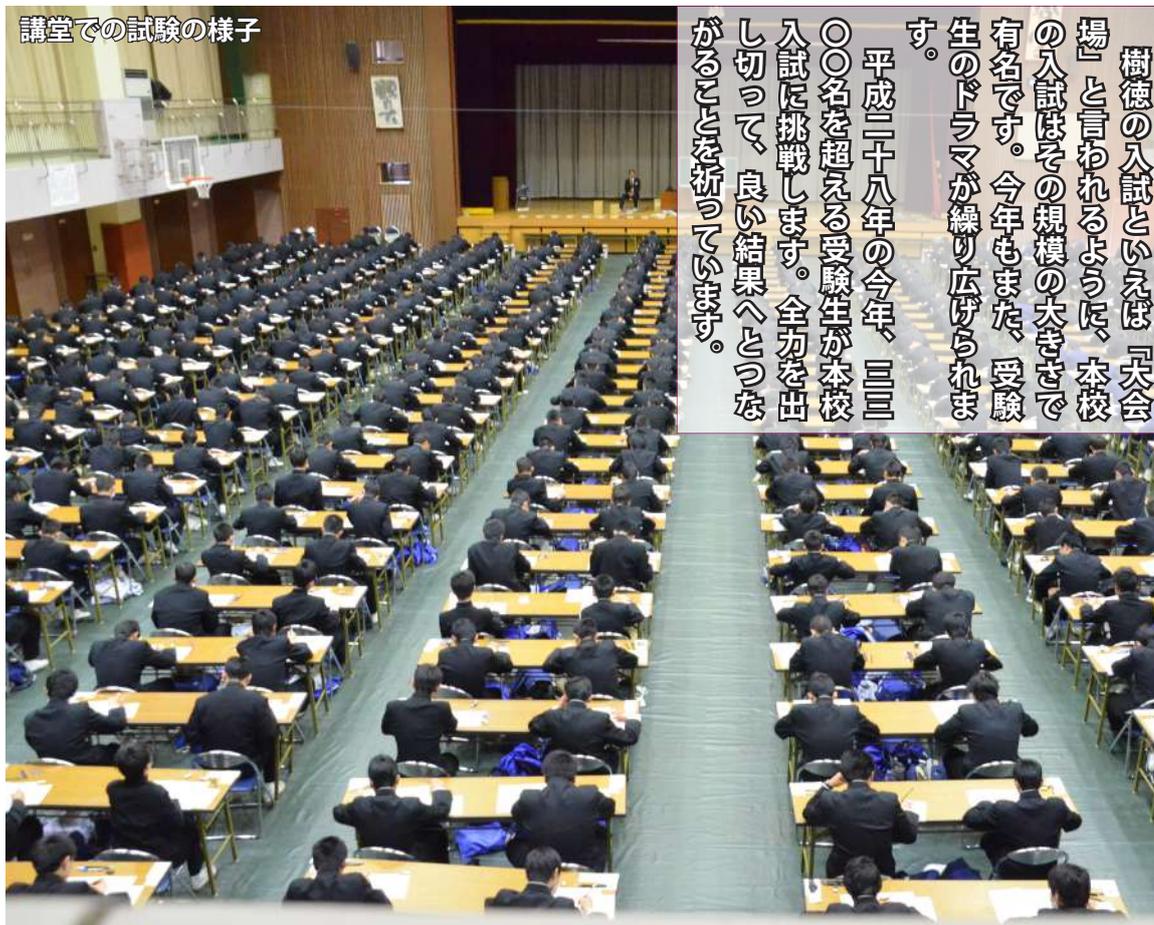
「とにかく挑戦の一年にする」この言葉を常に持ち、学校生活を送ってきた。海外科学研修、交換留学、常総でのボランティア、月影祭での実行委員など、いろいろなことに挑戦し、充実できたと感じていた。しかし、一年を振り返っ

てみると、いくつか「もつとこうしておけば良かった」という反省点がある。それは自分の短所でもある消極的なところや弱い自分が出てしまうところだ。たとえば海外語学研修でのことだ。私は好きな英語に挑戦したくてこの研修に参加した。しかし、実際に行つてみると他の国の人の語学力の高さに圧倒された。積極的に話そうと思つても、最初の一步がなかなか踏み出せなかった自分がいた。ほかの人に頼ることが多かったと思う。

そこで自分自身、何事にも強い気持ちを持ち、積極的に取り組んでいきたいと思う。またほかの人に頼ることなく自分で考え物事にあたり行動していきたい。一日一日の目標を決めて、毎日「挑戦」という一日にしていきたいと思う。また、今年自分が交換留学でオーストラリアに行く番であり、行くまでにしっかりと準備し、自分で考え行動していきたい。

最後にこの新たな一年を迎えるにあたって改めて先生方や友人、さらに親にも感謝の心を持ち、少しづつでも恩返しができるようになりたいと思つている。

講堂での試験の様子

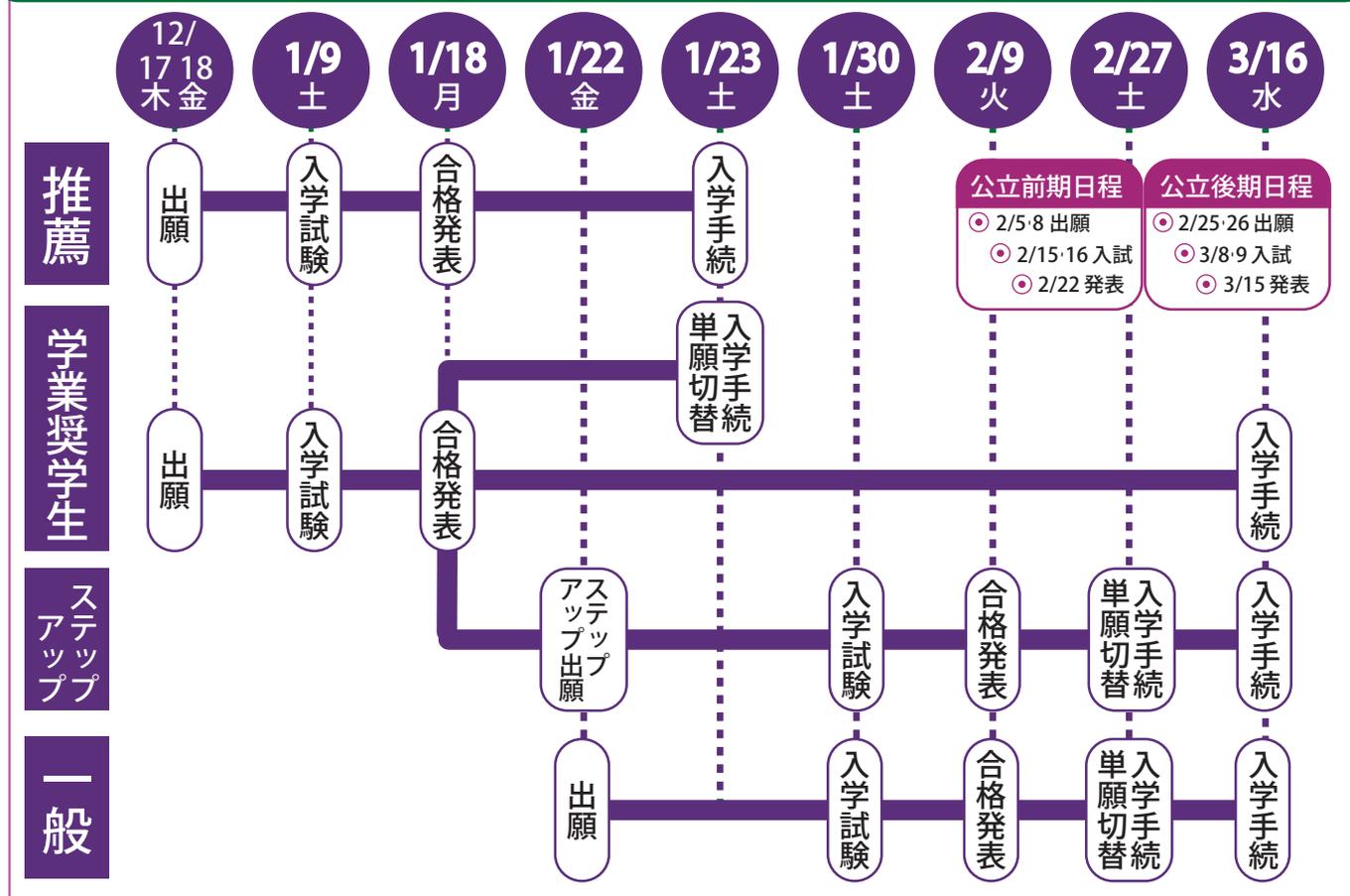


樹徳の入試といえば「大会場」と言われるように、本校の入試はその規模の大ききで有名です。今年もまた、受験生のドラマが繰り広げられます。

平成二十八年の今年、三三〇名を超える受験生が本校入試に挑戦します。全力を出し切って、良い結果へとつながることを祈っています。

平成28年度入試がいよいよ始まります

●入試関連スケジュール



一貫校 中学校 だより

◆三年生 イギリス語学研修

さる十一月十二日〜十八日の五泊七日で、樹徳中学校の一大行事のひとつでもある英国語学研修が実施されました。この研修のために日頃から英語力向上に努めてきた三年生四十六名。不安と期待を抱きながら、全員目的を持って参加することができました。



英会話レッスンで実践英会話に挑戦!



ロンドン市内観光



ホストファミリーとの出会い

現地校訪問で行われた交流会は少林寺拳法や伝統舞踊も披露して、時間をかけて準備した甲斐もあって大盛況に終わりました。たった数日間の研修ですが食事や生活スタイル、ホストファミリーと過ごす休日など、出発前に抱えていた不安は心に残る思いに変わり、充実した面持ちで無事に帰国しました。家族のものを離れて異文化を体感してきたこ



現地校訪問

とで、将来に対する視野も広がったことでしょう。

保護者による生き方教室 「出会いが君を作る」

日本航空 運航乗員部
ボーイング787路線室
機長 藤掛敏之様



た。一つ目は、「どんな仕事も一人ではできないからコミュニケーション力が大切」ということ。そして二つ目は、自身の中学時代の思い出を交えながら「出会いを大切にして欲しい」ということでした。

十二月八日(火)に、保護者による生き方教室が実施されました。

今回は、日本航空パイロットの藤掛敏之様が来校され、仕事内容や飛行機の仕事等に分かりやすく説明して下さいました。

その中で、藤掛様が強く言われていたことが二つありました。

平成 28 年度
樹徳中学校第 2 期入学試験
 試験日 平成 28 年 1 月 16 日(土)
 出願期間 1 月 6 日(水)～1 月 8 日(金)
樹徳中学校第 3 期入学試験
 試験日 平成 28 年 2 月 6 日(土)
 出願期間 2 月 2 日(火)～2 月 4 日(木)

お問い合わせ・お申し込みは、
 Tel 0277-45-2257



幼稚園だより

子どもの最善の利益のために

新年明けましておめでとうございます。今年も、未来を生きる子どもたちの教育に全力で取り組んで参ります。

昨年四月に「こども・子育て支援新制度」がスタート

トしました。群馬県における状況は、二七年度四〇%、二八年度には全体の五〇%が新制度（認定こども園）への移行を予定していません。課題等まだありますが、全国的な動向は移行へと流れています。

最近では、新制度へ移行しても幼稚園教育の原点を忘れてはならないという声を研修会等でよく耳にします。新制度が保育所仕様で「子どもの最善の利益にならないのならば、働く親の最善の利益になつていないか？」等の問題点等も指摘される中で、慎重に見極めることが大切と考えています。



また、昨年は保

護者、関係者皆様に大変お世話になり「幼児教育振興法（仮称）」の制定の実現に向けて、署名活動にご協力いただきました。幼児教育の無償化や、良質な幼児教育環境整備へ向けて、重要な法律であり、一日も早い制定に向けて一層の働きかけをしていきたいと思っています。さらに、補助金（施設型給付）等による保護者負担の軽減等を考慮しながら、本園でも近い将来には新制度への移行を判断しなければならぬと考えています。これらの動向を踏まえながら、今年も私立幼稚園（私学助成）として、樹徳幼稚園の歴史と伝統を大切にするとともに、

仏教保育を基本とした「明るく・仲良く・正しく・伸び伸びと」の教育目標の達成を目指して、今いる「子どもの最善の利益」や「子どものための豊かな環境づくり」を進めて参ります。保育の質を高め、充実した園生活が保障できるように子どもたちの教育（保育）に全力を尽くしていきたいと思ひます。

平成二八年が、保護者はじめ関係皆様にとって、健康で輝かしい一年となりますよう祈念申し上げますとともに、どうぞ今年もご指導・ご協力よろしくお願ひ申し上げます。

お出かけください

なかよし発表会

樹徳幼稚園のメインイベント「なかよし発表会」が、一月三〇日(土)に中央公民館において開催されます。

今まで積み重ねてきた教育（保育）のまとめとして、これからさらに成長するための橋渡しとなるよう、各学年の実態に即した内容で、オペレッタ・お歌・ピアノ演奏・合奏等発表します。今年のリズム遊戯は、ディズニーマのダンスメドレーの音楽に合わせて「チアダンス」に挑戦します。年少さんから年長さんまで、体を大きく動かし、楽しく笑顔で頑張ります。

これらの練習を通して、先生と子ども、子ども同士の絆が深まり、当日は気持ちの一つにして発表します。練習過程ではいろいろ

なことがありますが、それ乗り越えて、子どもたちが、成長した姿を、保護者やご家族の方々をはじめ、多くの関係皆様に見ていただきたいと思ひます。是非お出かけください。

幼稚園長 瀬谷 茂

入園願書受付中

- ◎ 四月入園生、満三歳入園生の願書を随時受け付けております。
- ◎ 二歳児でも相談に応じますので、是非お問い合わせください。
- ◎ 働くお母さんも安心して預けられるよう、午後六時三〇分まで預かり保育を実施しております。
- ◎ また、いつでも見学でき、幼稚園の雰囲気を知っていただくために、水曜日には遊び教室を開放しています。子どもさんと一緒にお出かけください。
- ◎ 詳細はホームページまたは電話でお問い合わせください。

お問い合わせは
0277-53-5572

1 月 (持 戒) の 行 事 予 定

日	曜日	高等学校(本校)	一 貴 校	幼 稚 園
1	金	元 日		
2	土	職員休暇		
3	日			
4	月	代休 (1月9日分)		仕事始め
5	火			始業準備
6	水	推薦・学奨入試打合せ会議	願書受付 (～8日)	始業準備
7	木	始業式 大学入試センター試験出陣式	始業式	始業準備・園内研修
8	金	漢字練習開始 大掃除 入試会場作成		第3学期始業式 園内清掃 (年長保護者)
9	土	推薦・学奨入学試験		
10	日			
11	月	成人の日		
12	火	学奨入試審査会	課題確認実力テスト 中市街地清掃 「介護の仕事」講演会	
13	水	推薦入試審査会 マイトリー基金抛金日 校内書き初め大会		
14	木	鏡開き		群私幼研究委員会
15	金	漢字検定③	ミニマナーアップ運動	
16	土	大学入試センター試験 (～17日) 1・2年進研模試③	中学校第二期入学試験	
17	日			
18	月	LHR 大学入試センター試験自己採点 推薦・学奨入試合格発表日	お役に立とう週間⑤ (～24日)	リズム (全)
19	火		入試合格発表	
20	水	ITS研修④	入学手続き (～22日)	臨時休園 群私幼冬季研修会 (伊勢崎市民文化会館)
21	木			
22	金	一般入試願書受付	英語検定③ (4～5級)	
23	土	英語検定③一次 第1回入学手続き (9:00～) 職員出勤日	英語検定③ (2～3級)	
24	日	全商簿記検定	中学校入学説明会①	
25	月	卒業試験 (～28日) 法然上人忌	あいさつ運動	リズム (全)
26	火	1・2年Jj組確認試験 (～27日)		
27	水			発表会総合練習 (合奏)
28	木	3年生一斉指導		群馬県私学振興会
29	金	出欠統計 大掃除 漢字テスト⑤ 一般入試会場作成 3年生自宅学習開始	学力推移調査③ (1・2年) 中学校範囲確認テスト (3年)	なかよし発表会予行練習 (中央公民館)
30	土	一般入学試験		なかよし発表会 (合奏・遊戯・オペレッタ)
31	日	一般入学試験採点 ペン字検定③ 全商情報処理検定	第9回群馬県音楽アンサンブルコンテスト	

※ 7日は高等学校・一貴校・幼稚園の校内安全点検日です。また、5日は授業料納入日です。



樹徳高等学校
樹徳中学校
樹徳幼稚園

〒376-0023 群馬県桐生市錦町一丁目1番20号
TEL 0277-45-2258 FAX 0277-47-1671

〒376-0022 群馬県桐生市稲荷町4-12
TEL 0277-45-2257 FAX 0277-45-2262

〒376-0013 群馬県桐生市広沢町三丁目4475
TEL 0277-53-5571 FAX 0277-53-5572

Web www.jutoku.ed.jp Mail office@po.jutoku.ed.jp

発行責任者 野口 秀樹
印刷所 太陽印刷工業株

夢は大きく 根はふかく